

楽しさの追求を支える福祉レクリエーション

－根拠をもったレクリエーション支援の方法－

京都文教大学子ども臨床研究会では毎年講師をお招きして研修会を実施しております。今年度は本学で保育表現技法を教えていただいている岡本浄実先生をお招きして研修会を実施したいと思います。研修会の第一部では、岡本浄実先生に、レクリエーション活動のプログラム開発を研究されているお立場から、子ども自らが「面白さ」「発見」をつみかさねることのできる遊びの仕方についてお話いただく予定です。

研修会の第二部では、「京都文教大学子ども臨床研究会」で実施している発達障害児童とその保護者への心理教育プログラム「すきっぷプログラム」の事例検討を行います。今回は、アクティビティをレクリエーションという観点から見直しつつ、グループの展開を検討したいと思います。コメンテーターとしては、岡本浄実先生、本研究会顧問の川畑直人先生に加え、かつてすきっぷでファシリテーターを経験された臨床心理士、中西桃子先生、諏訪部亮一先生をお招きします。岡本先生のご専門、そしてすきっぷの経験をもって現場で活躍される先輩の視点を交えることで、有意義な議論ができるのではないかと期待しています。たくさんのご参加をお待ちしております。

1. 日時：2014年 4月12日（土） 午後1時～5時（12時半受付開始）
2. 場所：京都文教大学 常照館 2階 J217（ダンス療法室）
3. 対象者：臨床心理士・臨床心理学を学ぶ大学院生・発達障害の援助に携わる専門職の方
4. 参加費：1000円（当日お支払いください）

5. プログラム

12:30～	受付開始		すきっぷ概要説明
13:00～	第一部： 岡本浄実先生のご講演	15:15～	事例発表
		15:45～	ディスカッション
14:45～	休憩	17:00	終了予定
15:00～	第二部：		

6. 講師：

岡本浄実（京都文教大学准教授/レクレーション・インストラクター/福祉レクレーション・ワーカー）

7. コメンテーター

岡本浄実（同上）、中西桃子（元・心理療育施設ひびき）

諏訪部亮一（まるいクリニック）、川畑直人（京都文教大学子ども臨床研究会顧問）

8. お申し込み・お問い合わせ

氏名、所属、連絡先（メールアドレス、お電話番号）をご記入の上、件名を研修会申込みとして子ども臨床研究会(skip@po.kbu.ac.jp)宛にお申込み下さい。

申し込み締め切り：2014年4月4日（金）まで（当日参加も可能です）

9. アクセス

近鉄向島駅（準急と普通のみ停車）より徒歩20分（向島駅からは京阪宇治バスかタクシーをご利用ください）

主催：京都文教大学子ども臨床研究会